

イベント報告

かいっばいがんばったよ 第34回 大分県ゆうあいスポーツ大会



期 日：平成26年5月11日(日)
参加者数：2,159名

県内の知的障がい児者のスポーツの祭典、「第34回大分県ゆうあいスポーツ大会」がすばらしい五月晴れのもと、大分銀行ドームで開催されました。

選手やご家族、施設関係者あわせて2,159名が集まり、楽しい1日を過ごしました。

大会結果(各競技優勝)は次のとおりです。(敬称略)



種 目	選手名・所属
400Mリレー(児童)	糸口学園A
400Mリレー(成人)	緑の家
1500M走(男子)	緑の家 高倉 修
1500M走(女子)	大分県糸口学園 角 琴美
800M走(男子)	なおみ園(こどもデイサービスパンビ) 伊藤 龍也
400M走(男子)	なおみ園(こどもデイサービスパンビ) 伊藤 龍也
100M走(男子)	大分県糸口学園 岡部 一輝
100M走(女子)	ほろんの郷麻生 元吉 順子

種 目	選手名・所属
ソフトボール投げ(男子)	ナザレトの家 原口 明男
ソフトボール投げ(女子)	暁雲福祉会(ウインド)小町 利絵
フライングディスク(5Mの部)	めぶき園 衛藤 聡
フライングディスク(7Mの部)	ナザレトの家 磯辺 英一郎
走り幅跳び(男子)	大分県糸口通勤寮 川野 宏一
走り幅跳び(女子)	さつき園小島 塩屋 和美
立ち幅跳び(男子)	大分県糸口学園 岡部 一輝
立ち幅跳び(女子)	ほろんの郷四日市 小坪 千明

いっばいの応援がうれしかったよ

第20回 大分県身体障害者福祉センター ふうせんバレーボール大会



期 日：平成26年6月8日(日)
参加者数：140名(16チーム参加)

ふうせんバレーボールは、出場する選手6名が必ずふうせんに触れ、相手チームへ返す競技として各地域に広まってきました。

この度、20回の記念大会を開催しました。今大会では、9歳から90歳までの幅広い年齢層の方が参加し、児童養護施設「森の木」の子どもたちも福祉体験を兼ねて初参加しました。出場した選手は、日ごろの練習の成果を発揮しつつ、チーム同士の交流もすすみ、笑顔で楽しく参加しました。



「ふうせんバレーに参加して」

(森の木の参加児童から)

1回戦は、大人と子ども合同でプレーし、最初は先に何点か相手チームより入ってうれしくて余裕を持っていたけどどんどんまけてしまっていて最終的にまけてしまっていて、すごくやってみなでさくせんを考えました。

2回戦は、大人を入れず子どもだけでしました。子どもだけですると息があい、1回戦よりも多く点が入り、あと1点というところでまけてしまいました。

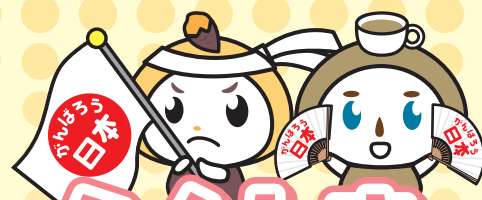
でも、他の人からいっばい応援してもらったのでうれしかったです。すごく楽しかったです。

由布ブロック

優 勝	イミテーションゴールド(中津市)
準優勝	大分ふうせんバレーボール振興委員会(宇佐市)
第三位	友愛クラブ(別府市)

鶴見ブロック

優 勝	ゆめいろA(大分市)
準優勝	ゆめいろB(大分市)
第三位	美多みんシックス(大分市)



『福島の子供たちを大分へ招待しよう!』

ふくしまっ子応援プロジェクト!

- ◆平成23年3月11日に東日本を襲った未曾有の大震災から3年以上が経過しましたが、未だに多くの被災者が仮設住宅や県外避難など、住み慣れた地域を離れて避難生活を余儀なくされています。
- ◆私たち社会福祉協議会やボランティア関係者は、今後も多くの方々に被災地を支援する気持ちを持ち続けていただき、“震災を決して風化させない”取り組みを続けていくことが大事であると考えています。
- ◆このため、毎年「ふくしまっ子応援プロジェクト」を企画し、夏休み、大分の山や海などの大自然の中で体を動かし、大分の地元の人とのふれあいも楽しんでもらうことを目的に実施しています。



昨年参加した子どもたちの声

大分体験活動に行って

五年生・高田くん

ぼくは、震災後、様々な支援を受けてきました。その中で、今年の夏、「ふくしまっ子応援プロジェクトⅢ」という支援にぼくが希望を出したら選ばれて参加することになりました。そのプロジェクトで大分県に行って、いろいろなことを学んできました。

大分県には四泊五日で行きました。大分では、いろいろな場所でたくさんの方が支援をしてくださいました。その中でも特に印象に残っていることは、住吉浜リゾートパークに泊まって行った海遊びやスイカ割りです。ぼくがいる新地町では、二年間、海に近づいてはいけなかったんで、とても楽しい思い出になりました。

ぼくは、この体験に参加して、将来、東日本大震災のような災害が起きた時に、その被災者を支援できるような立場の仕事につきたいと思っています。

絶対に忘れない

六年生・渡邊さん

私は、夏休みに大分県の体験活動を通して自分の気持ちや考えを伝えることの大切さを学びました。今までは、行事で他の学校の友達といっしょになってもはずかしくて話しかけられなかったけれど、大分県の体験活動の時には、みんなと話ができるようになったり、笑顔が出てきたり最後まで笑って過ごすことができました。

水族館や民泊の家などに行ったときも、経験することが楽しくて、明るくはしゃがらずに話すことができました。これらは、全部大分の皆さんのおかげです。

帰りのバスや飛行機の中でも、みんなが、「また大分に来たいね。」
「みなさんにまた会いたいね。」
などと言っていました。

新地に帰ってからも、大分のこと忘れられず、良く思い出しています。これからもずっと、遠い所からでも、必ずつながっていると信じています。

大分のみなさん、ありがとうございました。

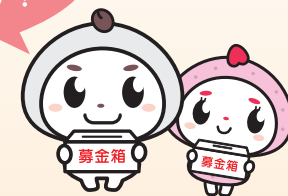
来年に向け、引き続き皆さまからの寄付を募集しています!

寄付金のお振込先

銀行名:大分銀行 西新町支店
口座番号:(普)No.5189587
口座名義:(福)大分県社会福祉協議会
ボランティア活動支援金口

(H26.10.30までは大分銀行本・支店窓口からの振込手数料は無料です)

この活動は皆様からの募金や団体からの寄付金で実施しています。ご協力、おねがいたします!



ふくしまっ子
応援プロジェクト
実行委員会

〒870-0907 大分市大津町2丁目1-41
事務局:大分県社会福祉協議会 大分県ボランティア・市民活動センター
TEL:097-558-3373 FAX:097-558-1296 E-Mail:oitavoc@oitavoc.jp